

報道関係者 各位

福岡県久留米市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

福岡県久留米市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ
新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性
が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、
情報提供します。

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す新型インフルエンザウイルスの確認について

新型インフルエンザの患者1名から、タミフル耐性の新型インフルエンザウイルスが確認されましたので、その概要をお知らせします。

なお、患者は既に死亡され、周囲へのタミフル耐性を疑う感染も確認されていません。

1. 検査結果概要

平成22年2月2日（火）に、福岡県保健環境研究所の遺伝子解析の結果、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異が確認されました。

国立感染症研究所にて詳細な薬剤感受性試験を行った結果、2月23日（火）にタミフル耐性、ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性であることが確認されました。

※参考 耐性：薬剤に対して抵抗力を持ち、薬剤が効きにくくなること。

感受性：薬剤が有効に作用すること。

2. 患者の概要（平成22年1月19日報道発表済）

- ・ 56歳 男性 市外在住
- ・ 基礎疾患：血液疾患

平成21年12月23日（水） 発熱
12月24日（木） 市内の医療機関を受診、インフルエンザ迅速キットA型陽性、タミフル内服開始
12月28日（月） 再受診し、肺炎の診断にて入院加療
平成22年 1月 8日（金） 福岡県保健環境研究所における遺伝子検査（PCR）の結果、新型インフルエンザ陽性を確認
1月18日（月） 肺炎、呼吸不全にて死亡

3. その他

久留米市内で、タミフル耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは1例目になります。全国で、タミフル耐性を持つ遺伝子変異が確認されたのは、本事例で61例目になります。

厚生労働省によると、タミフル耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

※報道に際しては、患者等のプライバシー保護について特段の配慮をお願いいたします。

◆問合せ先 健康福祉部保健所保健予防課
担当：宮本・古賀
TEL 0942-30-9730
FAX 0942-30-9833